

健やか生活習慣国民運動(仮称)の展開について(案)

これまでのポピュレーションアプローチの課題

- ① 健康日本21の目標項目(9分野70項目)は日常生活で意識し実践するには数が多過ぎること
- ② 健康日本21の目標達成に向けた効果的なプログラムやツールの展開が不十分なこと
- ③ 普及啓発が行政や外郭団体中心であり産業界を含む社会全体の活動に必ずしも至っていないこと

産業界も巻き込み“健やかな生活習慣”の普及定着を目指す国民運動の展開

- ① 重点分野の設定：健康日本21のうち、「運動・食事・禁煙」に焦点
- ② ターゲットを明確にした戦略的で効果的な運動の推進：国民運動の着火点として子供の食育に着目
- ③ 社会全体を巻き込んだ運動の展開：産業界による取組の促進（社員・家族への普及啓発、社会貢献活動・経済活動の一環として国民運動を推進）、地域・職域の特色を活かした様々な実践活動の促進

国民運動推進 の中核機関

健やか生活習慣国民運動全国協議会(仮称)

- 健やかな生活習慣の定着を目指し地域・職域における様々な取組を促進
 - ・ 普及啓発キャンペーンの展開 * 中央行事の開催
 - ・ 全国の事例を収集・評価・啓発、実践の参考となる情報提供(ホームページ等)
 - ・ 国民運動に参画する企業の登録制度(ヘルシーサポート企業(仮称)) 外

国

- ・ 国民への普及啓発
- ・ 科学的知見の蓄積と情報提供
- ・ 国民運動の基盤整備

各団体、学校、産業界、 地方公共団体、マスコミ

国民運動への主体的参画

産業界

- 社員・家族に対する普及啓発
- 社会貢献活動
- 経済活動を通じた普及啓発

事例

連携

優れた事例

- ・ 収集
- ・ 評価
- ・ 啓発

実践団体・企業等の拡大 活動内容の多様化

事例

地域社会

- 各地域・団体の特徴を活かした多彩な実践活動
- 管理栄養士、保健師等による実践の支援

連携

食育国民運動

早寝早起き朝ごはん国民運動